

は言われました。その頃、地域医療の担当理事の鈴木重光先生（現在93歳）が、地域医療は何か、何が大切かを説いてくれています。

その後、鈴木重光先生は副会長、会長をされ地域医療を実現しました。その一つに休日夜間診療所があります。他各種健診制度、予防接種制度、介護保険制度、訪問看護制度、病診連携等沢山のことがあり、これらを実現し、今は実行されています。

今のが医師会は14年前より感染症研究会、感染症対策委員会を持つてあります。現在、医師会で総力を挙げ、新型コロナウイルス感染症（COVІ D-19）に対応してP.C.R検査、予防接種を実行

小田原医師会会长の渡辺清治先生は先の見えないコロナウィルス感染症（COVІ D-19）であります。ですが「明けない夜はない」と言っています。「日常の治療は続けましょう」と呼びかけています。新型コロナウィルス感染症（COVІ D-19）の予防接種に対する、小田原医師会は日本でも早く、個別接種を行うと声をあげ、全国への影響度は大きいものでした。

今は個別接種の他、集団接種や職域接種もすすめ、順調に予防接種を進められています。

今のが個別接種に對して、小田原医師会は日本でも早く、個別接種を行ふと声をあげ、全国への影響度は大きいものでした。

今は個別接種の他、集団接種や職域接種もすすめ、順調に予防接種を進められています。

行政が協力し、経営の主体となることは歴史的な出来事です。医師会が運営をします。協力し合い長年上手く運営され、市民の命の安心安全に役立つたときは困っていました。一部の開業医の先生が診て下さっています。まだ子どもも多く、病気も多い時代です。夜間ににはかかりつけの先生がないと特に困ります。大人も同じです。そこで、休日だけでも急患を見ましょうということが検討されました。此の頃、全国的に急患対応をどうするかが、医師会のみで解決できるものではないといふことで検討されました。小田原市でも行政の理解や市民の要望があり、市議会でも了解されました。

# 地域医療の歩みと恩恵 —新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)に対応—(前編)

## 小田原医師会 (感染症研究会) 神山 明美

(感染症対策委員会)

地域に根ざして しています。これも地域  
医療の一環です。

Two oval-shaped black and white photographs side-by-side. The left oval contains a portrait of Dr. Linda Li, a woman with dark hair pulled back, wearing a light-colored collared shirt. The right oval contains a portrait of Dr. James Li, a man wearing glasses, a white shirt, and a dark tie.

今月のひとこと  
コロナのワクチン接種をしましょ  
う。三密を避けましょう。  
あなたとわたし、みんなで守りまし  
ょう。

「市民の命を大切にする」という市政が支えでした。

運営はどこがするか、看護師や事務員の確保、場所はどこでするか、経営上、不採算になる恐れがあるから、市からの予算を出してもらわなければなりません。出動医師はどうするか、誰が協力してくれるか等、沢山の問題がありました。

医師会のアンケートを取ると今のところ、「何とか小田原の先生方の努力で休日も患者さんは何か診てもらえるから必要ない」と言う意見の方が多くありました。

しかし、それも一部の医師の犠牲に基づくもので、長い将来を見ると今までのままでは続かない、次世代の医師は今のままでは跡を継がないだろう。小児科の医師は急患を診ていて心筋梗塞になつている人が多いがら、医師の命を守るためにも休日診療の制度は必要である。

市民からも請願が出ているということと、市議会も賛成し、兎に角、一部でも発足しましょと鈴木重光会長の強い意向で一部の医師会の医師の協力で立ち上げられます。市の方も協力してくれ、小田原市休日診療所として発足します。

A black and white photograph showing a hallway and a room where Dr. Fujimori is working.

に多くの中国人が出来、世界中にコロナウイルスが広がります。日本には北海道や沖縄に来て、流行をみます。対策は前回の新型インフルエンザの時と同じと大流行となり、止められない、と言いました。「今回の新型コロナウイルス感染症（COVD-19）はパンデミックになる」と同じようになり、多くの死者を出すだろう」となる」と宣言していました。

「新幹線を止めて、交網を遮断しない限り、ソデミックになる」として「それは第三次大と同じようになり、各の死者を出すだろう」とした。